

# ○山梨県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程の制定 について

〔平成26年12月10日〕  
例規甲（備一資）第42号

この度、特定秘密の保護に関する法律（平成25年法律第108号。以下「法」という。）の施行に伴い、山梨県公安委員会における特定秘密の保護に関する規程（平成26年山梨県公安委員会規程第4号）が制定されたが、その趣旨等は次のとおりであるので、運用上誤りのないようにされたい。

## 記

### 第1 制定の趣旨

山梨県公安委員会における特定秘密の保護に関し講ずべき措置等を定め、特定秘密の保全に万全を期することとされた。

### 第2 解釈及び運用

#### 1 保全責任者等（第3条関係）

保全責任者は、公安委員会補佐室長とされた。また、公安委員会補佐室室長補佐が臨時代行職員とされた。

#### 2 特定秘密文書等の保管容器（第11条関係）

第4項の「特定秘密管理者の定めるところ」については、「規定によることができない場合」の実情に応じ、個別に特定秘密管理者が定めることとされた。

#### 3 特定秘密を取り扱うために使用する電子計算機（第13条関係）

第1項の「特定秘密管理者が認めたもの」は、K A Iシステムとされた。また、共有フォルダに保存された特定秘密を含むファイルの暗号化措置の解除は、あらかじめ当該ファイルをK A Iシステムの端末装置のローカルフォルダに移動させた後に行うものとされた。

#### 4 交付及び伝達の承認（第17条関係）

当該特定秘密の取扱いの業務を行うこととされている同一の所属の職員の間における特定秘密の交付又は伝達は、あらかじめ特定秘密管理者が承認したものとみなすこととされた。

#### 5 運搬の方法（第18条関係）

運搬することができない、又は不適當であるときの運搬方法については、当該特定秘密文書等の実情に応じ、特定秘密管理者が個別に定めることとされた。

#### 6 文書及び図画の封かん（第20条関係）

「特定秘密管理者が特定秘密の保護上支障がないと認めたとき」とは、警察本部内において立入制限（I Cカード式符錠等の鍵により立入制限を行い、かつ、行先

の担当者の承諾を得なければ立ち入ることができない場合に限る。) を行っている取扱場所相互間を運搬する場合とされた。

#### 7 伝達の方法 (第24条関係)

真にやむを得ない場合を除き、所定の暗号化措置を施した電話機で伝達する場合以外の場合においては、電話により特定秘密を伝達してはならないものとされた。

#### 8 特定秘密文書等保管管理簿 (第25条関係)

特定秘密文書等保管管理簿の作成は、保管する特定秘密文書等が大量となる場合その他必要な場合に行うものとされた。

### 第3 施行年月日

平成26年12月10日から施行することとされた。

本件担当：資料係  
(警電 5722)